全調政連 ニュース　No. 2023-07

R5. 10. 30　　発行責任者　幹事長　久保田英裕

全国土地家屋調査士政治連盟ホームページ https://zenchoseiren.net

広がる道路　広がる安心

第一回狭あい道路解消シンポジウム in 神戸

日　時　令和５年 10 月 24 日(火)13:00～17:00

場　所　神戸文化ホール　中ホール

土地家屋調査士業界挙げての第一回狭あい道路解消シンポジウムが、日本土地家屋調査士会連合会主催、全国土地家屋調査士政治連盟、全国公共嘱託登記土地家屋調査士協会連絡協議会、及び日本土地家屋調査士会連合会近畿ブロック協議会、兵庫県土地家屋調査士会、兵庫県土地家屋調査士政治連盟、公益社団法人兵庫県公共嘱託登記土地家屋調査士協会の共催により兵庫県・神戸市文化ホールにおいて開催されました。

兵庫県土地家屋調査士会が運営の全てを担当し、総務省、法務省、国土交通省、兵庫県からご後援を頂き、国会議員関係者、県議会議員、市長村議会議員、自治体職員のご出席に土地家屋調査士を加え総勢約 500 名の参加があり、「広がる道路、広がる安心」の合言葉の下、狭あい道路解消の重要性を関係各位に広く啓蒙することができました。

シンポジウムは、岡田連合会長、三嶋兵庫会会長の挨拶に続き、前神戸市消防局局長・鍵本氏による「阪神淡路大震災からの教訓」、岡崎市役所・牧野次長による「岡崎市での狭あい道路の現状」、国土交通省・村上市街地建築課長による「狭あい道路の解消に向けた取組等」のご講演があり、豊田俊郎参議院議員からは「街づくりに果たす土地家屋調査士の役割」と題するご講演がありました。その後の質疑応答においても、活発な意見交換がされました。

シンポジウムの締めを飾る「狭あい道路解消宣言」が岡田会長から声高らかに発表され、次回共

同開催の石川県、富山県、福井県の土地家屋調査士会代表が意欲を述べて閉会となりました。

社会的に知られていない、地味な存在の狭あい道路解消、今、その重要性を訴えるのは土地家屋調査士しかいません。

全調政連は、この活動によって地味な土地家屋調査士を返上しようとしています。











